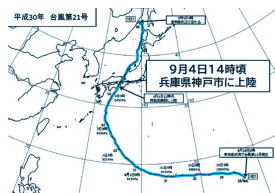


近畿地方を中心に甚大な被害を もたらした台風21号（2018年9月）

2018年8月28日に南鳥島近海で発生した台風第21号は、日本の南を北西に進み、9月3日には向きを北寄りに変え、4日12時頃に非常に強い勢力で徳島県南部に上陸しました。その後、4日14時頃には兵庫県神戸市に再び上陸し、速度を上げながら近畿地方を縦断し、日本海を北上し5日9時には間宮海峡で温帯低気圧に変わりました。

大阪府田尻町関空島（関西空港）では最大瞬間風速58.1メートルとなるなど猛烈な風を観測し、観測史上第1位となったところがありました。この台風の影響により、関西では阪神淡路大震災に次ぐ約168万戸にも及ぶ停電軒数が発生し、関西空港連絡橋にタンカーが衝突するなど、大きな被害が発生しました。

名称：平成30年（2018年）台風21号
 発生日時：平成30年（2018年）8月28日
 発生場所：南鳥島近海
 最低気圧：950hPa
 最大瞬間風速：58.1m/s



○被害状況



強風により飛来物が電柱に引っかかる様子



電柱および樹木の倒壊により寸断された道路

人的被害	死者数：14人、負傷者数：980人
建物被害	全壊：68棟、半壊：833棟、一部破損：97,009棟、 床上浸水：244棟、床下浸水：463棟
ライフライン	電気：約168万戸停電（関西電力管内） 水道：1万6,490戸断水

出典：気象庁HP、内閣府HP、消防庁HP